

令和7年度 事業計画書

[北方コンソーシアム(札幌市北方自然教育園)]

1. 基本方針

「北方自然教育園をより魅力ある施設へ」

学校教育における自然体験を学ぶ野外教育補助施設として、自然体験活動の機会を、安定的に提供することを第一義とするとともに、利用ニーズにも積極的に取り組み、教育機関から求められ、必要とされる魅力ある施設づくりを目指します。

市民が北方自然教育園を利用したく、利用しやすい施設づくりを推し進めます。学習館内の展示物の展示工夫、外部及び関係団体との連携も進めた事業展開、園内での公園機能の充実を図り、新たな利用層の獲得やリピーター層の満足度を向上させていくよう取り組みます。

管理面では、引き続きエネルギー使用量の削減に努めるとともに、飼育方法や管理方法の工夫を行い、経費削減を進めます。

2. 事業目標

- ① 外部及び関係団体との連携による各種事業、展示物の活性化に努めます。
- ② 園内での公園機能に、あそびの要素を加え、ファミリー層をターゲットに、日常的なリピーター利用者の増加を図ります。
- ③ 施設の管理運営方法を見直し、経費削減を進めます。

3. 数値目標

- | | |
|------------------|---------|
| ① 利用者総数 | 8,660 人 |
| ② 事業プログラム参加者総数 | 910 人 |
| ③ 利用者アンケートによる満足度 | 92 % |

4. 事業内容

- ア. 市立幼稚園・認定こども園・学校に関する農業体験の機会提供に関する業務
- イ. 市立幼稚園・認定こども園・学校に対する教材用生物の提供に関する業務
- ウ. 自然観察や採集等の学習機会の提供に関する業務
- エ. 自然体験に関する学習機会の提供に関する業務
- オ. 自然体験や展示に関する情報の収集及び提供に関する業務

- カ. 自然体験や展示に関する市民の自主的な活動及び交流の支援に関する業務
- キ. 自然体験や展示に関する相談業務
- ク. その他北方自然教育園の設置目的を達成するために必要な業務

5. 事業実施計画書(施設運営等事業)

ア. 市立幼稚園・認定こども園・学校に関する農業体験の機会の提供に関する業務

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数
1	体験農場 (継続)	【目的】市立幼稚園、学校の学習指導要領と関連付けながら、農業体験を提供する。 【内容】自然環境と作物との関係を考え、仲間と共通体験を行う機会を提供する。また、水田の体験学習については田植えから脱穀、精米までの一連の流れを理解し、食べ物大切さを考える機会を提供する。 【対象】市内幼児から中学校3年生 【人数】40校 2,000名	5月～11月

イ. 市立幼稚園・認定こども園・学校に対する教材用生物の提供に関する業務

2	教材用生物 の提供 (継続)	【目的】昆虫や植物の生態を理解する機会を提供する。 【内容】市立幼稚園・学校等に対してイネ・ヘチマ・コオロギ・カイコの生物教材を配付する。 【対象】市内幼保小中学校 【人数】220校	配布6月1回
---	----------------------	---	--------

ウ. 自然観察や採集等の学習機会の提供に関する業務

3	自然学習機 会の提供 (新規)	【目的】学習館の展示物等及び園内各施設を適切に維持管理するとともに、世代に応じた環境学習を推進します。 【内容】園内マップの配布、園内スタンプラリーの実施、SNS等を活用し、学びの機会提供と利用促進を行う。 【対象】市民 【人数】定員なし	通年・随時
---	-----------------------	---	-------

エ. 自然体験に関する学習機会の提供に関する業務

4	ようこそ 北方自然教育園 (継続)	【目的】農作業を通じて自然環境や食について考え、野外活動での集団行動と協力関係を増進する。 【内容】水田、畑作、果樹の収穫体験をする。 【対象】子どもに関わる団体等 【人数】引率を含めて 30 名	6 月～11 月 計 5 回
5	北方フルーツ ファーム (継続)	【目的】北海道の食文化や食育に対する理解と関心を深めると共にツリークライミングをとおして果樹が育つ環境を樹上から観察し学びを深める機会とする。 【内容】果樹(ナシ)の摘果や袋掛けなど果樹農家体験・ツリークライミングを実施。 【対象】小学生以上の児童を含む家族 【人数】8 組 (6 月・8 月全 2 日間、土曜・日曜コース各 4 組まで)	6 月・10 月 全 2 日間×2 回
6	自然体験工作会(継続)	【目的】身近な自然に目を向けることや創意工夫することで発想力を磨く機会を提供する。 【内容】自然素材を活用した工作を行う。 【対象】小学生以上 【人数】定員なし	通年・随時
7	北方ファーム (継続)	【目的】北海道の食文化や教育に対する理解と関心を深める機会とする。 【内容】野菜の生育状況の観察や収穫を行う。 【対象】小中学生を含む家族(1家族5人程度※幼児さんも可) 【人数】5 月・7 月・8 月全 3 日間、土曜コース、日曜コース各コース5組まで	5 月・7 月・8 月 3 日間×2 回

8	自然素材の リース (継続)	【目的】身近な自然に目を向けることや創意工夫することで発想力を磨く機会を提供する。 【内容】川地域や北方自然教育園内で採取された自然素材を活用した工作をする。 【対象】小学生以上の児童を含む家族 【人数】5 組	9 月～11 月 1 回
9	新年しめ飾り づくり (継続)	【目的】創作活動の楽しさや工夫する力を養うとともに、伝統工芸や風習など日本古来からの文化に触れる機会を提供する。 【内容】自然素材を活用したものづくり体験事業 【対象】小学生以上の児童を含む家族 【人数】12 組	12 月 1 回
10	家族でわくわく貝化石観察会 (継続)	【目的】家族で周辺の地層や札幌の地形の成り立ちについて学習し、自然について考える機会を提供する。 【内容】豊平川の河川敷にて貝化石の観察をする。 【対象】小学生以上の児童を含む家族 【人数】5 組	7 月 1 回
11	北方スノーシュー 野鳥観察 & 自然散策 (継続)	【目的】冬に自然に親しむ機会を提供する。 【内容】園内裏山を観察コースとした体験機会の提供をし、指定日にはガイド付で実施する。 【対象】小学生以上～大人(小学生以下は保護者同伴) 【人数】ガイド付きのみ定員 8 名	1 月～3 月 随時

オ. 自然体験や展示に関する情報の収集及び提供に関する業務

12	広報業務 (継続)	【目的】市民に季節や自然、動物等に関する情報の提供を行う 【内容】SNS 等を活用した広報により自然および施設情報の発信を行う。 【対象】市民	通年・随時
----	--------------	--	-------

カ．自然体験や展示に関する市民の自主的な活動及び交流の支援に関する業務

13	市民ボランティア事業 (継続)	【目的】 市民の自主的な活動を支援し自己実現の機会を提供する。 【内容】 市民ボランティアの人材育成事業の実施をする。 【対象】 大人 【人数】 定員なし	通年
14	教育機関支援事業 (継続)	【目的】 北方自然教育園のフィールドを高等教育機関、社会教育等団体の自然学習・調査研究活動等に活用し、積極的な学習支援および指導者養成を行う。 【内容】 農作業の従事 【対象】 高等教育機関、社会教育等団体 【人数】 定員なし	通年・随時

キ．自然体験や展示に関する相談業務

15	相談業務 (継続)	【目的】 野外教育施設として、相談業務を通じて市民への貢献をする。 【内容】 自然体験や展示に関する各種相談に対応する。 【対象】 市民 【人数】 定員なし	通年・随時
----	--------------	---	-------

ク．その他北方自然教育園の設置目的を達成するために必要な業務

16	他施設・団体連携事業 (継続)	【目的】 野外教育施設の可能性を拡大する。 【内容】 施設運営の趣旨を理解し、賛同する地域・企業・組織・他施設と連携し、各種事業を実施する。 【対象】 地域・企業・組織・他施設 【人数】 定員なし	通年・随時
----	--------------------	---	-------

17	教 職 員 研 修 事業 (継続)	【目的】体験農園および飼育栽培体験等について研修学習の機会を提供することにより各事業への理解を深める機会を提供する。 【内容】所管部局と連携し、主に新任小中学校教員を対象に教職員研修を実施する。 【対象】市立小中学校教職員 【人数】30 人	7 月 1 回
18	ロビー展示 (継続)	【目的】来館者の増加を図るとともに、環境保全および在来種の保護に係る啓発や情報発信をする。 【内容】学習館内での展示活動をする。展示にあたっては、関係団体との連携も行い実施する。 【対象】利用者 【人数】定員なし	通年・随時
19	大人の学び舎 「山野草講座」 (継続)	【目的】自然環境の学びの機会とする。 【内容】自然教室で講師を招いて、山野草などの講義と山野草や山菜などの調査を行う。 【対象】大人 【人数】10 名	5 月 1 回
20	社会的 課 題 解 決 事 業 (継続)	【目的】子どもや若者の関連施設等と連携して課題解決を目指す。 【内容】自然体験活動に関する施設やノウハウを基に、社会的課題の解決に向かう事業を実施する。 【対象】子どもや若者の関連施設(児童会館および若者支援施設など) 【人数】定員なし	通年
21	使用承認等に 関する業務 (継続)	【目的】市民への施設利用を促進する。 【内容】施設利用に係る受付および使用承認を行う。 【対象】市民 【人数】定員なし	通年・随時

22	調査・研究 (継続)	【目的】 生態や作物についての知識を深める。 【内容】 野外教育施設の可能性を拡大するための調査を行う。	通年・随時
----	---------------	---	-------

6.事業実施計画書(地域活動等事業)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数
23	自然環境関 連セミナー (継続)	【目的】 広く自然と人との共生を伝え考える機会を提供する 【内容】 北方自然教育園のフィールドや環境に関する内容をテーマとする 【対象】 大人 【人数】 15名	3月 1回